

SDGs「地球環境」への取り組み 11

アクサグループ

19年にグローバル気候戦略を公表

アクサグループ(グローバル)は、2023年までにグリーン投資を260億ユーロとし、脱炭素を目指す。また、50年までの地球温暖化係数を1.5℃以下に抑えることを目標とした気候戦略を19年に公表。20年には「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」をアクサのパーパス(存在意義)として定義し、アクサ・ホールディングス・ジャパン(以下、アクサHD)はこのパーパスを体現するため、傘下のアクサ生命、アクサ損保、アクサスタイル生命の3社で取り組みを推進している。アクサ生命執行役員チーフサステナビリティ&シニアアドバイザーの土井恵氏に詳細を聞いた。

土井恵氏に聞く

—アクサジャパンにおける特徴は。
土井 アクサHDでは、気候変動対策を加速させるため、22年にサステナビリティの専門部署として発足したサステナビリティ&シニアアドバイザーが、気候変動対策に関する戦略策定や部門横断的なアクションを主導している。



土井氏

—近年の日本における取り組みは。
土井 事業から排出されるCO2削減を図るため、オフィスビルの再生可能エネルギーへの切り替えを推進しており、現在までに東京本社80%相当の電力および、つくば・熊本・名古屋・沖縄・大阪のオフィスの100%の電力を再生可能エネルギーに切り替え済みとなっている。また、オンライン会議活用による出張の最適化やウェブサービス「Emma by アクサ」を活用したデジタル化による紙の使用量の削減により、22年は、19年対比で38%のCO2排出量削減を達成。今年からの新たな取り組みとして注目される中島公園工

—そのほかには。
土井 アクサ生命は、環境負荷低減策として期待が高まっている電気自動車(EV)を後押しするため、22年12月13日以降の自動車保険の契約を対象に「EV割引」「EV充電設備の補償特約」を新設した。また、今年度取り組みとして注目される中島公園工



「環境首都SAPP-RO」のロゴ、サッポロスマイル



札幌中島公園再開発プロジェクトのイメージ図

た、22年4月には、アクサグループの従業員が自発的に気候変動アクションを推進する「クライメイト・ファミリー」を発売した。約12ヘクタールの森林を「アクサの森」と名付け、協定を通じた資金拠出により、間伐採などによる森林保護活動をサポートし、CO2吸収に貢献する。本協定を機会に従業員の地球環境へのさらなる意識向上を図る。また、今年度は「なつやすみコンポスト大研究」企画にメイスンサーとして協賛した。生ごみを堆肥に変えてくれるコンポストを、子育て世帯が参加しやすい価格と、夏休み自由研究の題材として使えるような企画を従業員に提供した。

—今後の計画や展望などについて。
土井 アクサグループは、25年までに事業のカーボニュートラル化を目指すとしており、アクサHDもそれに沿った形でアクションを組み立て、目標達成に向けた気候変動アクションをより一層強化していく。投資家としては、25年までにアクサのポートフォリオから20%カーボニュートラル化を削減することを目標としており、6月には、新たに19年から30年までの間に50%削減する目標を設定した。また損害保

—そのほかには。
土井 アクサHDは、23年7月に高知県と高知市と協働の森づくりパートナーズ協定を締結した。約12ヘクタールの森林を「アクサの森」と名付け、協定を通じた資金拠出により、間伐採などによる森林保護活動をサポートし、CO2吸収に貢献する。本協定を機会に従業員の地球環境へのさらなる意識向上を図る。また、今年度は「なつやすみコンポスト大研究」企画にメイスンサーとして協賛した。生ごみを堆肥に変えてくれるコンポストを、子育て世帯が参加しやすい価格と、夏休み自由研究の題材として使えるような企画を従業員に提供した。

国内でも「アクサのパーパス」体現目指す

—そのほかには。
土井 アクサ生命は、環境負荷低減策として期待が高まっている電気自動車(EV)を後押しするため、22年12月13日以降の自動車保険の契約を対象に「EV割引」「EV充電設備の補償特約」を新設した。また、今年度取り組みとして注目される中島公園工

—そのほかには。
土井 アクサHDは、23年7月に高知県と高知市と協働の森づくりパートナーズ協定を締結した。約12ヘクタールの森林を「アクサの森」と名付け、協定を通じた資金拠出により、間伐採などによる森林保護活動をサポートし、CO2吸収に貢献する。本協定を機会に従業員の地球環境へのさらなる意識向上を図る。また、今年度は「なつやすみコンポスト大研究」企画にメイスンサーとして協賛した。生ごみを堆肥に変えてくれるコンポストを、子育て世帯が参加しやすい価格と、夏休み自由研究の題材として使えるような企画を従業員に提供した。

—そのほかには。
土井 アクサHDは、23年7月に高知県と高知市と協働の森づくりパートナーズ協定を締結した。約12ヘクタールの森林を「アクサの森」と名付け、協定を通じた資金拠出により、間伐採などによる森林保護活動をサポートし、CO2吸収に貢献する。本協定を機会に従業員の地球環境へのさらなる意識向上を図る。また、今年度は「なつやすみコンポスト大研究」企画にメイスンサーとして協賛した。生ごみを堆肥に変えてくれるコンポストを、子育て世帯が参加しやすい価格と、夏休み自由研究の題材として使えるような企画を従業員に提供した。